

第 24 回環境化学討論会 自由集会紹介文

「環境化学の本質ってナンダ?～過去-現在-未来の俯瞰から～」

世話人：水川薫子(東京農工大学)、頭士泰之(産業技術総合研究所)

チェアー：宇田川理(国立環境研究所)、遠藤智司(大阪市立大学)、小栗朋子(国立環境研究所)

環境化学の本質ってなんだろう？

なかなか手強いこの問いに迫るワークショップをひらきます！これまでの歴史を紐解き、今後どうなっていくか・どうしていきたいかを議論しながら様々な視点から「環境化学」を捉えてみませんか？

ワークショップの流れは以下を想定しています。

1. 参加者は複数用意されたテーブルの内いずれか 1 つを選びチームに入る
 - ・それぞれのテーブルには異なる専門分野を持つチェアーが割り当てられています。
2. 最初に、各チームで意見を出し合いながら環境化学の年表を作成
 - ・何が発展のターニングポイントだったか？歴史的イベント・事故、その対策技術、導入政策、などを挙げていきます。
3. 作成された年表を元に今後の方向性を議論
 - ・環境化学の分野全体や個々の研究者はどう歩んで行くべきか、どうしていきたいかを話し合い、まとめていきます。
4. チームごとに年表と今後の方向性を発表、会場全体で結果を共有
 - ・参加者・チェアーの専門性や個性によって現れる各チームの特色にも注目しましょう！

若手だけでなく研究をはじめたばかりの学生さんから歴史を築いてきた大先輩まで、大学・研究所・企業問わずいろんな立場の方がいろんな視点から意見を出し合い、お互いを知り・学びあえる場になればいいなと思います。

どうぞ奮ってご参加ください！